

総合型選抜 [自己推薦枠/社会人・帰国生枠/児童養護施設推薦枠]

選抜の流れ


I期～IV期

STEP 1

面談 ※出願前必須

①志望する学科・専攻の学びと自分が学びたいことが合っているかを確認するための面談を行います。面談はオープンキャンパスと同日に実施します。オープンキャンパス日程の3日前までにお申し込みください。別日を希望する場合は、各入試日程の“出願開始日の2週間前”までにお申し込みください。
 なお、別日のみオンラインでの面談も可能です。別日の実施日は、土・日・祝日を除きます。
 ②面談終了後、出願時に必要なID・パスワードを記載した「面談終了証」をお渡しします。

申し込みはこちら



STEP 2

出願

インターネット出願を行い、出願書類を揃え、郵送してください。

STEP 3

選考

■自己推薦枠 → P.11
出願の際に提出された書類、選考日当日のプレゼンテーションおよびワーク、面接等で選考します。

■社会人・帰国生枠 → P.18
【女子大学】出願の際に提出された書類、選考日当日のプレゼンテーションおよび面接等で選考します。
 (自己推薦枠の自己アピール型と同一の選考方法で実施します)
 【短期大学】出願の際に提出された書類および選考日当日の面接で選考します。

■児童養護施設推薦枠 → P.19
出願の際に提出された書類および選考日当日の面接で選考します。

STEP 4

合格発表 → P.27

V期

STEP 1

出願

インターネット出願を行い、出願書類を揃え、郵送してください。

STEP 2

選考

出願の際に提出された書類および選考日当日の面接等で選考します。

STEP 3

合格発表 → P.27

総合型選抜 [自己推薦枠]

募集人員

	女子大学			短期大学	
	子ども専攻	社会福祉専攻	地域イノベーション専攻	保育科	食物栄養学科
I期～V期	17名	3名	3名	20名	8名

日程

	出願期間	試験日	試験会場	合格発表
I期	2026年9月1日(火)～9月18日(金)	2026年10月3日(土)	本学	2026年11月2日(月) 10時
II期	2026年10月1日(木)～10月16日(金)	2026年10月24日(土)		2026年11月2日(月) 10時
III期	2026年11月24日(火)～12月4日(金)	2026年12月12日(土)		2026年12月18日(金) 10時
IV期	2027年1月4日(月)～1月22日(金)	2027年2月1日(月)		2027年2月9日(火) 15時
V期	2027年3月5日(金)～3月15日(月)	2027年3月17日(水)		2027年3月19日(金) 15時

出願資格

- 次のいずれかに該当する女子で、出願にあたり本学を専願とする者に限ります。
 - 高等学校又は中等教育学校を卒業した者、及び2027年3月卒業見込みの者。
 - 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、及び2027年3月修了見込みの者。
 - 学校教育法施行規則第150条(5の2号及び6号を除く)の規定に該当する者、及び2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者。 → P.3
- I～IV期については、「面談終了証」を発行された者に限ります。

受験型

	受験型	女子大学			短期大学	
		子ども専攻	社会福祉専攻	地域イノベーション専攻	保育科	食物栄養学科
I期～IV期	自己アピール型	○	○	○	○	○
	探究学習型	○	○	○	○	○
	資格・検定型	—	—	○	○	○
	教職・保育実践型	○	—	—	○	—
	課題設定型	—	○	○	—	○
V期	面接型	○	○	○	○	○

入学検定料

30,000円
 ※一度支払われた入学検定料は返還できません。

試験日の時間割

期	時間	内容
I期・II期・IV期	9:30～9:40	説明・注意
	9:40～	プレゼンテーション・面接
III期	13:30～13:40	説明・注意
	13:40～	プレゼンテーション・面接
V期	9:30～9:40	説明・注意
	9:40～	面接

※説明・注意開始の15分前までに会場にお越しください。

選考方法・評価基準

全学科・専攻		
自己アピール型 探究学習型	プレゼンテーション(口頭もしくは実技)	50点
	面接(口頭試問含む)	30点
	調査書	20点
資格・検定型	面接(口頭試問含む)	80点
	調査書	20点
教職・保育実践型	面接(口頭試問含む)	80点
	調査書	20点
課題設定型	事前課題	30点
	当日ワーク	20点
	面接(口頭試問含む)	30点
	調査書	20点
面接型	面接(口頭試問含む)	80点
	調査書	20点

■出願書類 → P.22

■合格発表 → P.27

■入学手続 → P.27

■学納金納入期日 → P.9

総合型選抜〔自己推薦枠〕

I期～IV期

受験型（対象学科・専攻はP.11を参照）

自己アピール型

高等学校等での体験や積極的に取り組んだこと、得意なこと等があり、自己を推薦できる者
（例：部活動、生徒会活動、ボランティア、資格・検定取得（種類は問いません）、描画やものづくり、楽器演奏、弾き歌い、絵本の読み聞かせ、ダンス、地域連携・地域貢献に関わる活動（地域のイベントに参加、町おこしに参加、子ども食堂のサポート、募金や寄付の収集活動、福祉施設サポート、子どもの学習支援、被災者支援）

探究学習型

「総合的な探究の時間（探究学習）」の活動の成果をもとに自己を推薦できる者
※グループでの活動も対象。

資格・検定型

以下のいずれか1つの資格を有する、もしくは検定に合格している者

地域イノベーション専攻

- 独立行政法人情報処理推進機構主催ITパスポート
- 日本情報処理検定協会主催「情報処理技能検定」1級
- （公財）全国商業高等学校協会主催検定1級1種目以上

保育科

- （公財）全国高等学校家庭科教育振興会主催「全国高等学校家庭科保育技術検定」3級以上
※「音楽・リズム表現技術」「造形表現技術」「言語表現技術」「家庭看護技術」のいずれか1つの取得で可
※令和6年度までに取得した場合に限り、改定前の基準として4級以上で可とする。

食物栄養学科

- （公財）全国高等学校家庭科教育振興会主催「全国高等学校家庭科食物調理技術検定」2級以上
※令和6年度までに取得した場合に限り、改訂前の基準として3級以上で可とする。
- 全国水産高等学校長協会教科「水産」研究委員会（食品部会）主催「食品技能検定」
- 全国水産高等学校長協会教科「水産」研究委員会（食品部会）主催「HACCP基本技能検定」
- 調理師免許（見込可）

I期・II期のみ奨励金として3万円支給される「検定等取得応援奨励金制度」➡P.20の対象となる資格があります。

教職・保育実践型

高等学校において教職課程コースに所属している者、あるいは高等学校において保育所・幼稚園・認定こども園・小学校・児童館等（児童福祉法・学校教育法で定められる施設）においてインターンシップ（実習・ボランティア）を10時間以上実施している者

I期・II期のみ奨励金として3万円支給される「教職・保育実践奨励金制度」➡P.21の対象です。

課題設定型

高校生活の中で得た気づきや関心をもとに、本学が提示する課題に取り組み、その過程や考えを通して自己を表現し、推薦できる者

【課題内容】

社会福祉専攻

- あなたのこれまでの生活の中で、「誰かの役に立てた」、もしくは「助けてもらった」という具体的なエピソードを一つ書きなさい。そしてその経験が、あなたの考え方にどのような影響を与えたか述べなさい。

地域イノベーション専攻

- 身近な地域にある場所や出来事の中から、自身が特に関心を持つものを1つ選び、その魅力や課題について調べ、簡潔にまとめなさい。

食物栄養学科

- 日常生活の中で意識している「食」や「健康」に関することを1つ取り上げ、その理由や工夫している点、さらに学びたいことについて述べなさい。

【分量】

- パソコンで作成のうえ印刷し、出願書類に同封すること。
- 社会福祉専攻**：文字数は600字程度とし、図表を含めてA4用紙2枚以内とする。
- 地域イノベーション専攻**：文字数は600字程度とし、図表・写真を含めてA4用紙2枚以内とする。（文書作成ソフトを使用し、印刷して提出する）
- 食物栄養学科**：A4用紙2枚以上（文章による記述、図表等の使用は任意とする）

選考方法

自己アピール型・探究学習型

各受験型の内容に基づいた次の1、もしくは2のプレゼンテーションを行った後、口頭試問を含む面接を行う。

1. 口頭によるプレゼンテーション

子ども専攻・社会福祉専攻・保育科・食物栄養学科

- それぞれの受験型の内容に沿ったテーマで、5分程度のプレゼンテーションを行う。
- PowerPointもしくは資料を使用して行うこと。

地域イノベーション専攻

- 「求める学習歴」に即したテーマで、5分程度のプレゼンテーションを行う。
- PowerPointを使用して行うこと。

2. 実技によるプレゼンテーション

子ども専攻

いずれか1つを選択して、プレゼンテーションを行う。

- ことばのイメージを絵にする
 - 提示された短い文章（おはなしや歌詞など）をイメージし、30分で自分なりに描画表現をする。
 - 八つ切り画用紙に鉛筆やクレパス等で描画する。八つ切り画用紙、クレパス等の画材は大学が用意する。
- 絵本の読み聞かせ
 - 当日提示された絵本を読み聞かせる。
- 弾き歌い
 - 自ら選んだ子どもの歌を、前奏付きで弾き歌う。
 - ※②絵本の読み聞かせ、③弾き歌いは、実技前に練習時間5分間を確保する。

保育科

いずれか1つを選択して、3分以上10分以下のプレゼンテーションを行う。

- 楽器演奏（ピアノ以外も可）
- 絵本の読み聞かせ
 - 乳幼児向けに、5分程度で読み終える絵本を事前に自分で選び、当日読み聞かせを行う。なお、受験当日は絵本を持参すること。
- 弾き歌い
 - 自ら選んだ子どもの歌を、前奏付きで弾き歌う。
- 紙芝居
- エプロンシアター
- パネルシアター
- ペープサート
- ダンス
- その他
- ※①楽器演奏、③弾き歌い、⑧ダンスは、実技前に練習時間5分間を確保する。

資格・検定型

取得している資格・検定に関する口頭試問を含む面接を行う。

教職・保育実践型

教職課程コースでの学びやインターンシップに関する口頭試問を含む面接を行う。

課題設定型

出願時に提出した課題をもとにワークを行い、その内容および事前課題に関する口頭試問を含む面接を行う。

※課題は出願時に出願書類に同封して提出してください。

試験当日に持参するもの

1. 口頭によるプレゼンテーション

- パソコンを使用する場合は、プレゼンテーションのデータを保存したUSBメモリとデータを印刷したもの1部を持参すること。（Windows11 PowerPoint2021以降に対応するデータをUSBで持参すること）
- 資料を使用する場合は、使用する資料とその写し1部を持参すること。

2. 実技によるプレゼンテーション

- ①楽器演奏、③弾き歌いについては、楽譜を2部（提出用）持参すること。なお、ピアノ以外の楽器を使用する場合は、その楽器を持参すること。
- ②絵本の読み聞かせ（保育科）については、自分で選んだ絵本を持参すること。
- ④～⑨で使用する道具

V期

受験型・選考方法

面接型

口頭試問を含む面接を行う。